

# 商工連プラザ

7  
VOL.336

商 工 会 は 行 き ま す 聞 き ま す 提 案 し ま す



1. 空から見た雄山。2000年の噴火では山頂にあった旧火口が陥没して直径約800mのカルデラが新たにできました 2. イルカと泳ぐポイントが三宅島の南18kmほどのところにあります 3. 三宅島の総鎮守である富賀(とが)神社の例祭で、2年に1度行われる「巡り神輿」。島内5つの地区を1泊ずつしながら1周する神事です 4. 国の天然記念物「アカコッコ」。三宅島はバードアイランドといわれる野鳥の楽園で、とくに大路池周辺はスタジイなど照葉樹が残る島内屈指のバードウォッチングポイントです(提供:三宅島観光協会)

## ▶ CONTENTS

- ② 第56回通常総会を開催 東京都商工会連合会
- ③ 通常総会を開催 新会長に鈴木悟氏(西東京商工会青年部)を選任 東京都商工会青年部連合会
  - ・東京都商工会女性部連合会が通常総会を開催
  - ・人事交流
- ④ 多摩の観光振興・観光ビジネス創出に向け、広域・産業横断的なネットワーク組織を立ち上げる 東京都商工会連合会 観光事業推進担当事務局 駒事務局長に聞く  
**「働き方・休み方の改革とライフ・ワーク・バランスの推進」で意見交換**  
公労使による「新しい東京」実現会議
- ⑤ <連載>「わが社の経営革新計画」(滋賀物産/小金井市)
- ⑥ <連載>島おこし・多摩おこし(ギャラリーカフェ・カノン/三宅村)
  - ・第2回 多摩地域ものづくり人材確保支援協議会を開催
- ⑦ <連載>「私と商工会」(船見荘/八丈町)
  - ・「マッチング商談会&情報交流会」を11月に開催
- ⑧ 多摩・島しょ地域のイベントガイド(8~9月)

## 三宅村 Miyake

### 発掘! 商工会地域の観光資源

三宅島は東京から約180km南に位置し、東京諸島では大島、八丈島に次ぎ3番目に大きな島。黒潮の影響による海洋性気候で、平均気温は17.7℃と、夏涼しく冬暖かな島です。

火山島であり、雄山は約20~60年周期で噴火を繰り返しています。2000年に大きな噴火がありましたが現在は落ち着いています。一方で、三宅島は約230種類以上の野鳥を観察できるバードアイランドとして、あるいは巨大島の島として注目を集めています。

三宅島の海には、日本最北端のテーブルサンゴの大群落や、メガネ岩の海中溶岩アーチなどがあり、火山活動で出来た複雑な海底地形はダイバーの憧れ。また、島内にあるクライミングウォールの施設は、公共施設として全国1、2を争うほどの充実ぶりだと評判です。東京・調布飛行場から空路で50分(1日3往復)、海路だと約6時間30分とアクセスがよいのも魅力です。

主な産業は、明日葉や赤芽里芋、キキョウランを中心とした農業と、金目鯛、マグロ類などの沿岸漁業。商工業では、焼酎、くさや、牛乳煎餅、明日葉加工品などの製造・販売があります。



▲平成28年度の事業報告・決算などを承認 第56回通常総会

# 5 議案を承認

東京都商工会連合会

第56回通常総会を開催

「多摩地域が持つポテンシャルは高い。前に進むとする人材を育ててほしい」と村越会長

東京都商工会連合会（都商工連）は5月29日、昭島市内のホテルで「第56回通常総会」を開き、平成28年度の事業・決算など4議案と役員を選任に関する1議案を審議、それぞれ満場一致で承認しました。

総会に先立ち挨拶に立った村越政雄会長は「最近の都商工連の動きには目覚ましいものがある。2025年に向けての商工会のビジョンが策定されたほか、今年3年目に入る多摩・島しょ経営支援拠点、事業承継の支援実績で評価を得ている。中小企業人材確保支援ネットワーク事業でも着実に成果が上がっている。また、4月に発足した観光事業推進担当事務局は、多摩の観光・産業振興を推進するためのネットワーク組織構築に向けて走り出した。多摩地域が持つポテンシャルは大きい。各商工会で、前に進んでいく人材を育てて欲しい」と訴えました。

総会は山下真一副会長（福生市商工会長）の開会の辞で始まり、議長に清水秀明日の出町商工会長を選び、議事を行いました。承認した5つの議案は①事業報告・一般会計収支決算等②職員退職金特別会計収支決算等③商工貯蓄共済事業報告等④東京都小規模事業経営支援事業費補助金特別会計収支決算等⑤役員候補者選任です。第5議案の承認により、5月12日の東京都商工会青年部連合会の通常総会で新会長に選任された鈴木悟氏が、都商工連の理事に選任されました。

総会後の懇親会には、来賓として五十嵐悟閑東経済産業局産業部次長、

野間達也東京都産業労働局商工部長をはじめ、関連支援機関、金融機関から約20人が出席しました。小笠原村商工会の石井亮青年部長と日野市商工会の峯岸信子女性部長、三宅村商工会の石井節美女性部長が関東経済産業局長表彰を受けました。続いて、東京都産業労働局長感謝状、東京都商工会連合会長表彰、商工貯蓄共済新規加入成績優良商工会表彰、商工会等職員永年勤続感謝状の表彰を行いました。

## 受賞者の皆様

### 【関東経済産業局長表彰】

#### ■青年部功労者

▽小笠原村商工会青年部長石井亮

#### ■女性部功労者

▽日野市商工会女性部長 峯岸信子

▽三宅村商工会女性部長 石井節美

### 【東京都産業労働局長感謝状】

#### ■役員功労者

▽日野市商工会理事 西野正人▽

武蔵村山市商工会副会長 内野均▽  
八丈町商工会副会長 間仁田聡▽  
八丈町商工会理事 冲山克身▽  
昭島市商工会理事 日下部恵造▽  
小笠原村商工会副会長 築館俊一

### 【東京都商工会連合会長表彰】

#### ■役員功労者

▽三鷹商工会副会長 岩崎守利▽  
国分寺市商工会理事 川島政義▽  
日野市商工会監事 揚石國臣▽  
小金井市商工会理事 松井大平▽  
福生市商工会理事 富田勝也▽  
福生市商工会理事 渡邊徹夫▽  
国立市商工会理事 青木豆雄▽  
東大和市商工会理事 西川勝義▽  
三宅村商工会理事 田中悠紀

### 【商工貯蓄共済新規加入成績優良商工会表彰】

▽国分寺市商工会▽清瀬商工会▽  
あきる野商工会▽羽村市商工会▽  
神津島村商工会▽  
日の出町商工会

### 【全国商工会会員福祉共済新規加入成績優良商工会表彰】

▽大島町商工会▽  
神津島村商工会▽  
清瀬商工会 藤井博之▽  
調布市商工会 内倉千明▽  
武蔵村山市商工会 谷口光輝

（敬称略、役職は平成28年度）



# 新会長に鈴木悟氏を選任

(西東京商工会青年部)

スローガンは「人と人を結び、街と街を繋ぐ、都青連」

第50回 通常総会を開く

東京都商工会青年部連合会

東京都商工会青年部連合会(都青連)は5月12日、三鷹産業プラザで第50回通常総会を開き、任期満了に伴う役員改選を行い、新会長に西東京商工会青年部の鈴木悟(すずき・さとる)氏を選任しました。副会長には齊藤学(再任・日野市商工会)、遠田裕史(新任・武蔵村山市商工会)、村越鉄平(新任・小金井市商工会)、高橋綾(新任・八丈町商工会)の4氏を選びました。



▲鈴木悟新会長(右)と矢部要前会長がガッチリと握手

## 鈴木悟新会長の横顔

ダンス・イベント・舞台などの照明デザインや音響業務を行う株式会社MOON LIGHTの代表取締役。矢部前会長の強い推薦を受け、大役を務める決心をした。

都青連のネットワークをフル活用し、異業種・同業種の若い事業者が交流を深め、信頼を築き合い「かけがえのない人」を増やしていくこと。また、街と街、商工会と商工会を繋いでできる「かけがえのない地域」を作ることが目標という。

ペンションや温泉宿に泊まる旅行やキャンプ、バーベキューなどが趣味。家族は4人。お子さんは小学4年の息子さんと2年の娘さんの2人。休日は商工会などの地域活動か、息子さんの少年野球で過ごすことが多いそうだ。



総会では、役員改選のほか、28年度事業報告・収支決算、29年度事業計画・収支予算案など3議案が提出され、承認されました。新会長に選ばれた鈴木氏は、スローガンに「人と人を結び、街と街を繋ぐ、都青連」を掲げました。都青

連の活動を行っていく中で、各商工会の垣根を越えて交流を深め個々が成長していくこと、また、街同士・商工会同士を繋ぎ、地域の振興や社会福祉の増進をはかることの重要性

第35回 通常総会を開催

東京都商工会女性部連合会

7月に東京で「関東ブロック女性部商工会交流研修会」を開催

東京都商工会女性部連合会(都女連)は5月12日、昭島市のホテルで「第35回通常総会」を開き、平成28年度の事業報告・収支決算や平成29年度の事業計画案・収支予算案など3議案を承認しました。

廣瀬可世子会長は挨拶で「今年度は、7月に東京で関東ブロック商工会女性部交流研修会が開催される。多摩・島しょ地域の女性部が協力して大会を運営し、関東ブロックの10県の女性部との交流をさらに深めていただきたい」と述べました。



▶都女連の通常総会で挨拶する廣瀬可世子会長

来賓として挨拶した村越政雄東京都商工会連合会長は「平成29年度の新規事業として、都商工連に観光事業推進担当を置き、多摩地域の団体、関係機関などと連携した観光に

を訴えました。

総会には、来賓として、村越政雄東京都商工会連合会長、傳田純同専務理事、廣瀬可世子東京都商工会女性部連合会長らが出席しました。

## 人事交流

関わる広域的なネットワーク組織作りを始めた。女性部の皆さんも、それぞれの地域で新しい観光資源があったら、ぜひ連絡していただきたい」と同事業への協力を求めました。

- 【採用】(5月21日)▽小笠原村・業務高橋友香(6月1日)▽三鷹・一般尾賀正敏▽稲城市・業務宮村麗夏▽瑞穂町・業務米田文貴▽瑞穂町・記帳久松祥樹
- 【異動】(6月1日)▽東久留米市・主事・経指(瑞穂町・主事・経指)熊田永
- 【退職】(4月30日)▽瑞穂町・業務井上絵美(5月20日)▽小笠原村・記帳秋山裕代

※地域名は商工会名。経指は経営指導員、「業務」は業務支援員、「記帳」は記帳相談員、一般は一般職員の略です。



駒 治徳 事務局長

「多摩の観光振興・観光ビジネス創出に向け、広域で産業横断的なネットワーク組織を創出する」というコンセプトですが、その特徴は？」

多摩地域の観光事業者、商工会、商工会議所、商店街、観光協会、自治体などと連携し、広域かつ産業横断的なネットワ

## 多摩の観光振興・観光ビジネス創出に向け、 広域で産業横断的なネットワーク組織 「多摩観光推進協議会」立ち上げへ

駒 治徳 東京都商工会連合会 観光事業推進担当事務局長 **に聞く**

東京都商工会連合会は4月に「観光事業推進担当事務局」を設置しました。同事務局は、2020東京大会とその先を見据え、多摩地域の観光振興や観光ビジネスの創出による産業振興につなげるための広域かつ産業横断的なネットワーク事業のコーディネイト役となります。5月上旬に事務所を開設し本格的な活動を開始しました。そこで、駒治徳事務局長に事業の概要についてお聞きしました。

「ネットワーク組織とすることが大きな特徴です。今年9月までに「多摩観光推進協議会」を立ち上げます。それぞれの事業者や関係組織と競合するのではなく緩やかに連携して、点ではなく線や面になるように多摩全体の観光資源をアピールし、観光産業の育成につなげていきたいと考えています。」

「協議会の役割で最も重視されているのは何ですか？」

「2020東京大会を契機に東京を訪れる外国人や国内旅行者を、多摩地域に呼び込むことはもちろんですが、五輪終了後も協議会が多摩地域の観光振興・観光ビジネス創出の基盤となるよう、地域関係者と連携しながら事業やプロジェクトを進めていくことが重要な役割と考えています。多摩地域は、観光面ではまだまだ未開発です。魅力的な観光資源があるのに気が付かず、活用されていません。」

「計画しているプロジェクトにはどのようなものがありますか？」

「多摩の魅力をもっとPRする多摩地域のマップや観光図鑑を作成します。今年度は総合編を作ります。その後、3年間でエリアとテーマ別にマップ等を作成していく予定です。今年度のモデル事業として、北多摩地域を中心に、地域の食である「うどん」をテーマにした観光ルートの開発などが挙がっています。また、多摩観光推進協議会のホームページも早く立ち上げたいと思います。」

## 働き方・休み方の改革と ライフ・ワーク・バランスの推進 「ダイバーシティの実現に向けて」

「まず、働く方々の時間的な余裕作りから始めたい」と村越会長

公労使による「新しい東京」実現会議

「公労使による『新しい東京』実現会議」が5月25日、東京都庁で開か

れました。経営者団体の代表の一人として村越政雄東京都商工会連合会会長が出席しました。同会議は、「2020年に向けた実行プラン」に掲げた「新しい東京」を目指し、「セーフティ」「ダイバーシティ」「スマートシティ」の3つのシティを実現するため、公労使が意見交換を行う場として設置されました。

今回の会議では「働き方・休み方の改革とライフ・ワーク・バランスの推進」「ダイバーシティの実現に向けて」を議題にし、小池百合子東京都知事と経営者団体、労働団体の代表者が率直な意見交換を行いました。

会議には、経営者団体から村越会長のほか、三村明夫東京商工会議所会頭、大村功作東京都中小企業団体中央会会長、鶴浦博夫東京経営者協会会長が、労働者団体から岡田啓連

に議題に  
意見交換



公労使による「新しい東京」実現会議  
（左から2番目が村越会長）

合東京会長が出席しました。小池都知事は、「皆様と歩調を合わせ、働き方、休み方の改革やライフ・ワーク・バランスの推進で、都民一人ひとりの幸せや企業の発展、働く人たちの満足などの課題を解決することで、日本全体も経済も元気にしていきたい」と述べ、TKO KYO働き方改革宣言企業制度やテレワーク推進センターの設置など、都の取組みを紹介しました。

席上、村越会長は「商工会の会員は小規模で働き方も多種多様。画一的に働き方や休み方を規定するのは難しい。まず、それぞれの企業で、働く方々の時間的な余裕を作るところから始めたい」とし、「その中で生まれた時間を、自然豊かな多摩地域での陶芸など様々な体験や、宿泊などに使ったらどうか」と提案しました。

新製品・新事業への挑戦で、さらなる飛躍を!

わが社の

# 経営革新計画

PART2  
No.6

## 美味しいで笑顔が咲いた、 会話が咲いた、幸せ咲いた

### 滋賀物産株式会社(小金井市)



代表取締役  
土井 千壽子 氏  
(どい・ちずこ)

大手商社で食品を扱っていた父が、滋賀県の食品を東京で紹介しようとして1977年に小金井に設立した朝日食品という会社が当社の前身です。琵琶湖でとれるアユやゴリの佃煮など、父が扱っていたこだわり食品を百貨店向けに卸すことから始まりました。その後、京都など関西圏の食品も扱うようになり、1981年に滋賀銀行や滋賀県・京都府のメーカーなどの協力も得て増資し、翌年には社名も滋賀物産に変えました。食文化の違いもあり関西の食品・食材が受け入れられない時期もありましたが、現在では、北陸・東北・北海道・沖縄などの食品も製品メニューに加え、和食中心に全国の食品を扱っています。都内の高級スーパーや百貨店など80社と取引し、年間300社ほどのメーカーから約3000種類の食品を仕入れています。扱っている食品のコンセプトは「安全・安心」。言い換えると、無添加・無着色であることが必須です。「食品のラベル表示を見て、カタカナ(添

加物)や数字(着色料)のないもの」が選択の基準になります。値段は高くなりますが、ほんものの味を体験していただきたいという願いからです。仕入れる商品は、私や社員が現地に行き生産者と話し合っ決めていきます。ちなみに女性社員が半数を超えていて「女性目線」で選ぶことが多いのも特徴かも知れません。

多少の波はありましたが、仕入れ先や販売先からの信頼も得て、事業は比較的順調に成長してきました。そんな中で「本当に美味しいもの、今まで食べたことがないもの、高くて手が出なかつたもの、そしてとにかく安心・安全なものを、一般の消費者の皆さんに味わっていただく仕組みを作りたい」という思いがわいてきました。

ただ、事業として利益を生み出すものではなく「おいしいものを作ったから食べていただく場」を作ることくらいに考えていました。まずは料理教室や試食会を開けるように、その後、アンテナショップを作ってこだわりの食品を購入できるようにしたい、という感じでした。

3年前のことですが、小金井市商工会さんが「経営革新計画」の講習会を開くということで、新事業を始めるうえで参考になると思い、参加しました。この時に講師の方に経営革新計画への挑戦を勧められました。ただ、忙しさもあって申請まではいきませんでした。しかし、東京都商工会連合会の経営革新指導員さんが「まだ、あきらめていないでしょ」と、粘り強くサポートしてくれました。

申請を目指す過程では、指導員さんの客観的な視点が入ります。漠然としていたものが「1日に何人来て、1人の単価はいくら」「3年後にはこうなる、4年後には人を増やしてアンテナショップも開ける」というように、これでもか、これでもかというくらいに課題を掘り下げていきます。具体的な数字が入った目標ができると、やらなければならないことが明確になります。事業の輪郭がはつきり見えた気がしました。力強い支援のおかげで今年1月に経営革新計画に承認されました。

最終消費者と直接触れ合っ、声を聞くことができる「試食のできる、食べることを楽しめる、食べる幸せを味わえる店」を作るための第一歩を踏み出すことができました。食材の味がストリートに出ている、ほんものの味を、たくさんの方々を経験していただけるよう頑張っていきたいと思えます。



◀ 昨年1月に開いた料理教室の様相

営業所  
〒184-0004  
東京都小金井市本町6-9-35 NOSAI会館1F  
TEL:042-385-0384  
本社  
〒184-0014 東京都小金井市貫井南町4-30-15





三宅島で  
「自然に溶け込んで心地よい時間」を!

ギャラリーカフェ・カノン  
おおぎみ しの  
大宜味 詩野 さん

## 島おこし・多摩おこし No.6 三宅村

この人に聞く

—岬に近く、緑に囲まれたお洒落なカフェですね。お店を作るきっかけは?

父が三宅島の中学校で美術の教員をしていた関係で、私も三宅島で育ちました。2000年の噴火により東京で避難生活を送ったあと、2008年に島に戻ると、父は早期退職して画家として再スタートしました。一方で漁師として夏場は天草などを採る生活を始めました。2010年に三宅島を題材にした自分の作品を展示するギャラリー兼自宅を建て、カフェも始めることになりました。そこで私が店主となったわけです。

—といても、お店を経営した経験もなく最初は大変だったでしょう。

すべてが初めてでした。料理も習ったことがなくて、島のために何か貢献したいという思いだけでこれまで走ってきたような気がします。島を訪れる観光客目当てだったのですが、最初はなかなかお客さんが来てくれなくて…。でも、島のママさん仲間、支庁の方、学校の関係者などが来店するようになり、誕生会やクリスマスパーティーなどのほか、音楽好きが集まってミニコンサートも開くようになりました。今は、島の皆さんが求めるくつろぎのスペースと雰囲気を提供しようと心掛けています。のんびりとした島の自然そのものの中に溶け込んで、心地よい時間を過ごしていただきたいと思っています。

—三宅島ならではのメニュー作りにも挑戦しているそうですね?

はい。自家製のアシタバ粉末を作り、パンやクッキーなどの焼き菓子や、アイスクリームに入れたものをお店で出しています。ムロアジのツミレを使ったハンバーガーなども好評です。また、父が採ってきた天草で作ったところてんを入れたあんみつセットもあります。三宅島観光協会の売店でも手作りの焼き菓子などを売っています。

—大宜味さんにとって、商工会とはどんな存在ですか?

詳しく分からない点も多いのですが、商工会さんが年5回ほど開く「島市」が、私にとって、同業者同士のコミュニケーションを深め、お互いに励まされる場所になっています。島市では手作りパンや焼き菓子売っており、観光客にアピールできるなどのメリットもあります。長く続けていきたいと思っています。

〒100-1102  
東京都三宅島三宅村伊豆36  
TEL:04994-2-1239

心地よい時間が過ごせる  
ギャラリーカフェ・カノンの店内▶



第11回

東京発! 物産・逸品見本市「極鮮TOKYO」



▲挨拶する  
傳田純都商工連専務理事

西武信用金庫と東京都商工会連合会(都商工連)は、「第11回 東京発!物産・逸品見本市「極鮮TOKYO」」を、5月18、19の両日、新宿駅西口広場イベントコーナーで開催しました。

同見本市には60を超える事業者が出展。商工会地域からも10数事業者が出展して「多摩の逸品」の販売・PRに力を入れました。また、夏の観光シーズンを迎える伊豆諸島・小笠原諸島の観光情報案内にも人気が集まっていました。



▲挨拶する  
鶴田和男多摩ものづくり人材確保支援協議会会長

現場研修が32期を通じて、第1期・第2期を過ぎて、第3期の求職者募集を開始し、基礎研修・現場研修を推進するとともに、合同企業面接会や企業魅力発信などの事業にも力を入れていく方針を示しました。

多摩地域ものづくり人材確保支援協議会は4月24日、昭島市のホテルで「第2回協議会」を開き、平成28年度「多摩地域中小企業人材確保支援ネットワーク事業」の事業報告と平成29年度事業の概要説明を行いました。

平成29年度

## 合同企業面接会・企業魅力発信にも注力 第2回協議会を開催

多摩地域ものづくり人材確保支援協議会

人(派遣先企業25社)、研修を経ての直接雇用が10人との実績報告がありました。一方、ものづくり企業を訪問し、採用支援企業を選定し、企業にコンサルティングを実施する「採用・育成等の支援」では、延べ204社(実質133社)を訪問、116社が支援協議会に入会しました。「採用コンサルティング」では選定した32社中5社が実施途中で、27社が実施完了しました。また、「人材確保・育成セミナー」は4回実施し、延べ86人が参加したと報告しました。平成29年度の事業計画では、第3期の求職者募集を開始し、基礎研修・現場研修を推進するとともに、合同企業面接会や企業魅力発信などの事業にも力を入れていく方針を示しました。

伝統的な匠の技と最先端ものづくり技術の魅力を発信

## 「ものづくり・匠の技の祭典2017」

8月9日~11日 東京国際フォーラムで開催

東京都は8月9日~11日の3日間、東京・丸の内での東京国際フォーラムで「ものづくり・匠の技の祭典2017」を開催します。

日本の伝統的な匠の技と最先端のものづくり技術を紹介・販売します。「衣」「食」「住」「工」の分野ごとに、展示だけでなく、実演や自ら体験できるブースも多数設けられます。

ステージでは、日本を代表する左官職人の挾土秀平氏による壁塗りや、四條流宗家による平安時代から伝わる包丁儀式の実演などが行われます。東京を訪れる海外の方にも楽しめるイベントです。

# 私と商工会

| No.19 |



地域が良くならないと、  
次の人に渡せない。  
本業とともに島全体の  
産業活性化にも全力を尽くしたい

持続化補助金の採択を受け、  
民宿のパフレットや  
ホームページの作成に活用

| 民宿 船見荘 |  
代表 浅沼 隆章 氏

民宿は3代続く家業で、そのかわら農園も営んでいます。八丈高校卒業後に調理師専門学校で学び、島に帰ってきたのが19歳の時。それから10年間ほど、私は民宿業より農業に情熱を傾けてきました。敷地内に「船見農園」を作り、温室で自家製の野菜やパパイア、パインナップルなどを栽培するとともに、八丈町の町花であるストレチア(極楽鳥花)など花きの栽培にも力を注いできました。

八丈島の主要産業に観光があります。昔は「東洋のハワイ」と呼ばれ、宣伝しなくても年間15万人以上の来島者で賑わいました。しかし、最近では10万人ほどにまで減少しています。島自体の人口減少も著しく、現在は約7600人です。人口減は農業や漁業など島の産業全体に影響します。何とか守ってきた産業も後継者不足になっています。私が農業をやり、島の産業振興にも一役買おうとしているのは「地域が良くならないと、次の人に渡せない」という危機意識を抱いたからです。

八丈町商工会や八丈島農業振興青年研究会に入会したのも帰島してすぐの19歳です。「島を何とかしたい」という思いでいっぱいでした。現在は商工会の青年部部長のほか、八丈島産業振興青年研究会連絡協議会の会長、観光協会の副会長、農地利用最適化推進委員なども務めています。団体や研究会で多くの方々と交流する中で、産業振興についても、短期のもの、中・長期的なものに分けて考えられるようになってきました。

商工会さんのお付き合いも20年になります。社会人としての常識を叩き込まれた道場であり、かけがえのない友人にも出会えた場でした。これまでに、補助金を利用してダイバー専用スペースの整備を行っています。最近では、平成28年度の小規模事業者持続化補助金の採択を受け、パフレットやホームページの作成に利用させていただきました。今後、エキスパート事業や、多摩・島し経営支援拠点の支援事業なども活用していきたいと考えています。家業をしっかりとやるとともに、島全体の産業活性化にも力を尽くしたいと思っています。

## ■会社プロフィール

八丈島のリーダーを輩出している「浅沼家」の8代目。島のため、地域のため、その次が自分のためという若手リーダーだ。数々の地域団体の役職をこなす。「頼まれると断れない性格」という人望があればこそだ。

浅沼氏を本格的に島の産業振興の世界に引きずり込んだのが、琉球大学が主体となって2015年と2016年にかけて行なった「島々のリーダー養成研修」だったそうだ。与論島、喜界島、利尻島、八丈島などが参加し、最終的には、参加した島の課題を解決するための処方箋を導き出すのが目的。2015年は八丈島で行われ、参加した。

この研修に参加するためには、まず研修者自身が補助金を申請して獲得するという厳しい関門がある。研修では、統計学や起業関連の基礎を学ぶとともに、リーダーに求められるファシリテーション能力の養成を行う。会議の場で、議論の進行役となって合意の形成や相互理解をサポートする能力だ。この研修を受けることで、浅沼氏はクラウドファンディングや補助金申請のやり方についても多くの知識を得たという。

今、浅沼氏が精力的に取り組んでいるのがタイとの交流だ。東京都の事業である「アウト&イン・バウンド型東京島酒・東京諸島ブランド強化事業」にNPO法人八丈島産業育成会として参加している。タイ・バンコクで、東京諸島の島酒(焼酎)を現地の飲食店を中心に販売促進する事業だ。「タイで作られていた蒸留酒が、黒潮に乗って沖縄、鹿児島と伝わり、薩摩藩の流人が八丈島に伝えたという説がある。タイで島のブランドを定着させたい」と意気込む。焼酎の文化・技術のルーツであるタイに感謝の気持ちを伝えるとともに、海外で販売することによって地酒文化を承継し、島のモノづくりの持続化につなげようという構想だ。浅沼氏はプロジェクトリーダーとしてその先頭に立っている。

- 住所:東京都八丈町三根1754
- TEL:04996-2-0731
- FAX:04996-2-2016

バーベキューハウスも完備▶



金田 光  
八丈町商工会  
経営指導員

## | 経営指導員から一言 |

### 伴走型支援を継続

浅沼さんとは、青年部への入部から約20年のお付き合いです。「実直で信念をもった好青年」というのが第一印象でした。

現在は青年部長として、各種イベントや島内外の産業祭等、青年部活動にも積極的に参加し活躍されています。

本業である宿泊業についても、エキスパートバンク事業、経営支援拠点事業等の専門家派遣制度を活用しながら、経営改善・事業発展に取り組みられています。新規事業も含め、今後も経営指導員として、力になれるよう伴走型支援を継続して行きたいと思っています。

## ものづくり企業向けに

### マッチング「商談会」&「ビジネス情報交流会」を11月に開催 東京都/東京都商工会連合会

東京都は、製造業に関わる中小企業に「出会いの場」を提供するためのマッチング「商談会」を、11月28日(火)に産業サポートスクエア・TAMA(昭島市東町3-6-1)で開催します。同時に、東京都商工会連合会が、「ビジネス情報交流会」を開きます。マッチング商談会&情報交流会の開催によって、受・発注機会の拡大をはかるとともに、新たなパートナー企業の発掘や、ビジネスチャンスの創出につなげていきます。

マッチング「商談会」の参加については、①受注希望企業②発注企業③受注希望・発注企業の3通りの申込法があります。申込みの締め切りは8月31日(木)。参加費用は、商談会は無料、情報交流会は1,000円(軽食代・資料代)です。



▲昨年のビジネス情報交流会の模様

募集要領・申込法などの詳細 東京都商工会連合会のホームページ <http://www.shokokai-tokyo.or.jp/> をご覧ください。



## EVENT GUIDE 8月→9月

## 多摩・島しょ地域のイベント

日程	イベント名	会場	内容	主催者・問合せ先
1日(火)	神津島マリン太鼓フェスティバル(神津島村)	物忌奈命神社境内特別ステージ	島外の太鼓団体を招待し「神津島太鼓」と競演	神津島観光協会(04992-8-0321)
1日(火)~2日(水)	物忌奈命神社例大祭(神津島村)	物忌奈命神社境内、神津島村内	神事「鯉釣り」、子供神輿、山車、夜店など	物忌奈命神社(04992-8-0913)
2日(水)	神津島マリンフェスティバル「渚の花火大会」(神津島村)	前浜海岸	海辺で700発の花火を打ち上げる	神津島観光協会(04992-8-0321)
3日(木)~6日(日)	第67回 福生七夕まつり(福生市)	福生駅西口駅前通り、銀座通り、栄通りほか	七夕飾り、模擬店、各種イベント	福生七夕まつり実行委員会(042-551-1699)
4日(金)~9日(水)	富賀神社大祭(巡り神輿)(三宅村)	三宅島内	富賀神社を出発した神輿が、五穀豊穡、大漁、家内安全、無病息災などを願う担ぎ手により、島内5地区の御旅所に1泊ずつしながら巡行し、最終日に富賀神社に還御されるという珍しいお祭り	三宅島観光協会(04994-5-1144)
5日(土)	第15回 あきる野夏まつり(あきる野市)	JR秋川駅北口駅前大通り周辺	模擬店、流し踊り、神輿・凧子パレード、各種ステージショー	あきる野夏まつり運営委員会(042-558-1867)・あきる野市商工振興課内
5日(土)	大賀ハス 観蓮会(羽村市)	根がらみ前水田大賀ハス植栽地(羽中4丁目)	2000年前のハスの実から咲いた大賀ハスの花を観る会。葉にそそいだ酒を壺から飲む「荷葉杯」や野点、野菜の即売を行う	羽村市農業後継者クラブ(042-555-1111)・羽村市産業振興課内
5日(土)	第35回 羽村灯籠流し(羽村市)	宮の下運動公園	生きている幸せを先相に感謝し、家内安全・学業成就などの願いを込めて灯籠を川に流す	羽村灯籠流し実行委員会(042-555-9667)・羽村市観光協会内
5日(土)	小平グリーンロード灯りまつり(小平市)	たけのこ公園など市内の公園	市民が作った灯ろうに点灯、模擬店が多数出店	小平市グリーンロード推進協議会・小平市産業振興課(042-346-9581)
5日(土)~6日(日)	2017 トウキョウズカップヨットレース(大島町)	岡田沖スタート、波浮港ゴール	今年で26回目となる伝統のヨットレース。表彰式では地元料理で交流(5日波浮港)	トウキョウズカップ実行委員会(04992-2-1446)
5日(土)~6日(日)	第45回 昭島市民くじら祭(昭島市)	昭和公園陸上競技場ほか	5日 19:30~20:00: 夢花火の打ち上げ 6日 16:00: くじらパレード	昭島市民くじら祭実行委員会(042-543-8186)
5日(土)~6日(日)	下町夕涼み(小金井市)	江戸東京たてもの園	提灯に明かりが灯り盆踊りが始まる。屋台では焼きそばや昔懐かしい玩具が並び、日本の夏の風情、下町の夕涼みを再現	江戸東京たてもの園(042-388-3300)
10日(木)	観音様夜宮(新島村)	新島本村観音様境内下	夏の風物詩。夜宮が並び、ふるさとの祭り	新島村商工会(04992-5-1167)
11日(金)~12日(土)	第38回 伊豆大島夏まつり(大島町)	元町港、元町仲通り	11日の花火大会は元町港橋から約1,000発の花火を打上げる。屋台50店舗で賑わい、イベントも多彩	大島町商工会(04992-2-3791)
12日(土)	第44回 とうろう流し(あきる野市)	リバーサイドパークの谷	約800基のとうろうを清流秋川に奉流し、先相を供養	あきる野市観光協会(042-595-1135)
13日(日)~14日(月)	盆踊り大会(神津島村)	前浜広場	盆踊り、商工会青年部が夜店出店	神津島村商工会青年部(04992-8-0232)
18日(金)~20日(日)	JPSA 新島プロ・シニア・マスタープロサーフィン大会(新島村)	羽伏浦海岸	プロサーファーの大会/45歳以上のプロ・アマの大会	日本プロサーフィン連盟(03-5449-4195)
19日(土)	第21回 みずほサマーフェスティバル(瑞穂町)	瑞穂町役場西側通り	流し踊りコンクール、模擬店、武州唐獅子太鼓ほか	瑞穂町観光協会(042-557-3389)
19日(土)~20日(日)	第50回 三鷹阿波踊り(三鷹市)	三鷹駅南口中央通り、さくら通り駐車場	今年で50回目を迎える三鷹の夏の風物詩。各「連」の熱い踊りと鳴り物の音、観客の拍手で盛り上がる	三鷹阿波踊り振興会(0422-49-3111)
19日(土)~20日(日)	第29回 弘沢の滝ふるさと夏まつり(檜原村)	弘沢の滝、檜原小学校周辺	日本の滝百選の「弘沢の滝」などのライトアップ、郷土芸能、特産品販売、花火	檜原村観光協会(042-598-0069)
19日(土)~9月3日(日)	清瀬ひまわりフェスティバル(清瀬市)	下清戸内農地	2万4千㎡の農地に咲かせたひまわりで観光客を誘致。清瀬産野菜や特産物を直売	清瀬市農ある風景を守る会(042-497-2052)・清瀬市市民生活部産業振興課内
20日(日)~21日(月)	第31回 大島親善少年野球大会(大島町)	町内小中学校グラウンド	東京都、千葉県、神奈川県、静岡県から強豪7チームが来島、島内チームとの熱戦に期待	大島観光協会(04992-2-2177)
26日(土)	第39回 武蔵村山市観光納涼花火大会(武蔵村山市)	野山北公園運動場	西暦に合わせ2017発の花火を打ち上げる。昼間はステージでダンスなどのアトラクション。会場には約40店が出店	武蔵村山市商工会(042-560-1327)
26日(土)	第15回 ヨルイチ(あきる野市)	JR武蔵五日市駅前から小中野地区までの檜原街道沿いほか	歴史と伝統が息づく五日市の昔懐かしい市。スタンプラリー、人力車の運行、和のイベント	ヨルイチ実行委員会(090-3137-3901)
26日(土)	第6回 神津島アグアスロン大会(神津島村)	スィムは前浜海岸、ランは村内	傾斜が急な道路が多い村内ランでの競争が見どころ	神津島村産業観光課(04992-8-0011)
26日(土)~27日(日)	調布市観光フェスティバル(調布市)	調布市役所前庭	模擬店、ステージイベント	調布市観光協会(042-481-7183)
27日(日)	調布よさこい2017(調布市)	旧甲州街道(京王線調布駅北口~布田駅付近)	流し踊りほか	調布市文化・コミュニティ振興財団(042-441-6171)
9日(土)	第3回 新島アグアスロン大会(新島村)	前浜海岸	スィム、ランの2種競技の大会 Aタイプ:スィム1.5km、ラン10km/Bタイプ:スィム0.75km、ラン5km	東京アイランドシリーズ大会事務局(03-5456-8504)
16日(土)~17日(日)	横田基地 日米友好祭(福生市など)	米軍横田基地	航空機展示・見学、バンド演奏ほか各種イベント、アメリカンフードの販売などで、アメリカ気分を満喫	詳細は米軍横田基地のウェブサイト http://www.yokota.af.mil/で
23日(土)	島民まつり 2017(新島村)	黒根港船客待合所前広場	出店多数。舞台発表、お楽しみ大抽選会もあります	新島村商工会(04992-5-1167)
23日(土)~24日(日)	第17回 はむらふるさと祭り(羽村市)	JR青梅線小作駅東口周辺	小作駅東口がよさこいソーランなどさまざまな踊りと和太鼓演奏で盛り上がる。焼きそばやたこ焼き、おもちゃなどの模擬店も並び	はむらふるさと祭り実行委員会(042-555-1111)・羽村市産業振興課内
24日(日)	青少年のための科学の祭典(小金井市)	東京学芸大学	100以上のブースで実験や工作が行われ、科学の面白さを体験できる。子供たちの目線で科学が楽しめるイベント	2017「青少年のための科学の祭典」東京大会 in小金井(090-7944-1900)
30日(土)~10月1日(日)	どんこい祭2017(東村山市)	天王森公園	武蔵野うどんの「ムラ麺」など模擬店、「東村山の町が好き」な文化団体のステージ、夜市など	どんこい祭実行委員会(042-394-0511)
30日(土)~10月1日(日)	第50回 お月見のつどい(小金井市)	小金井公園	地元選りすぐりの屋台40店以上が出店。ステージ上の演劇、伝統 芸能、歌唱、ダンスなども楽しめる	小金井市観光まちおこし協会(042-316-3980)

念のため、主催者に日にち・会場などをご確認の上、お出掛け下さい。



再生紙を使用しています。